

2026.1月～



形成外科 中原 真理（なかはら まり）

出身地：熊本県

卒業年：2016年

趣味・特技：子どもと公園で体を動かすこと、サッカー観戦（家でフロンターレサポーター）

取り組みたいこと：形成外科医として力になれるよう、手術のスキルアップと勉学に励みたい

中原真理と申します。臨床研修を熊本大学病院・熊本労災病院で行った後、昭和大学形成外科に約8年所属し、2人目の出産を機に地元、熊本に戻ってくることにいたしました。まだまだ未熟ですが、熊本の医療に貢献できるよう、日々精進して参りますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

2026.4月～



整形外科 米満 龍史（よねみつ りゅうじ）

出身地：熊本県

卒業年：2011年

趣味・特技：スポーツ観戦、飲食（スイーツ、お酒）

取り組みたいこと：患者様のお役に立つこと

熊本大学病院整形外科より来ました。米満 龍史（ヨネミツ リュウジ）と申します。これまでは、慢性疾患を中心に診療にあたっていましたが、機能病院では、広く運動器疾患に携わっていきたいと思います。よろしくお願い致します。



形成外科 城間 大（しろま ひろし）

出身地：熊本県

卒業年：2018年

趣味・特技：サッカー観戦、ランニング

取り組みたいこと：外傷、人工関節など

本年度より当院に勤務することになりました。これまで外傷および人工関節治療を中心に経験を積んでまいりました。地域の医療に貢献できるように頑張りますので宜しくお願いいたします。



形成外科 佐々木 祐輔（ささき ゆうすけ）

出身地：広島県

卒業年：2023年

趣味・特技：ゴルフ、スポーツ観戦

取り組みたいこと：外傷全般

本年度より当院に勤務させていただきます、佐々木 祐輔と申します。様々な症例を経験できるよう一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

熊本機能病院 外来予約センター

はいキューゴ

☎096-345-8195（直通）

受付時間 / 月～金 8:30～17:00

診療時間

月～金

8:30～11:00 / 13:00～16:00

休診日

土曜 / 日曜 / 祝日 / 年末年始

●急患については上記にかかわらず救急センターにて診療いたします。

KUMAMOTO KINOH HOSPITAL 熊本機能病院

〒860-8518 熊本市北区山室6丁目8-1

TEL 096-345-8111（代表） / FAX 096-345-8188

熊本機能病院公式サイト
https://www.juryo.or.jp/



熊本機能病院ホスピタルレター

キノウトアシタ

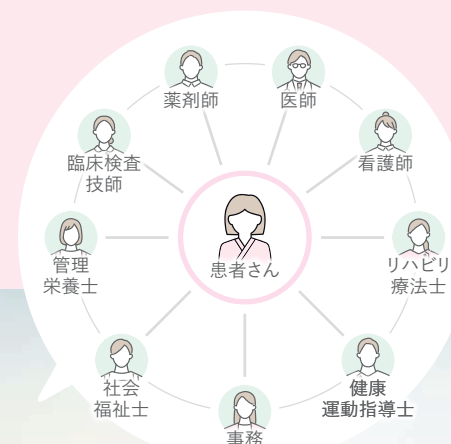
KINOH TO ASHITA

特集

科学的根拠に基づいた

「心臓リハビリテーション」で地域をつなぐ

[INFORMATION] 新任医師のご紹介



科学的根拠に基づいた

「心臓リハビリテーション」で地域をつなぐ

～心不全パンデミックに立ち向かう回復期ハブ病院の挑戦～

熊本機能病院 循環器内科 統括部長 熊本健康・体力づくりセンター 所長
日本循環器学会専門医/日本心臓リハビリテーション指導士 / 評議員

原田 栄作



HFpEFの病態解明と性差への着目

私は長年、心不全研究をライフワークとして参りました。特に高齢化に伴い急増している「左室駆出率の保持された心不全（HFpEF）」は、単なる加齢現象ではなく、精密な病態把握が必要な疾患です。私共の研究グループでは、日本人HFpEF患者におけるB型ナトリウム利尿ペプチド（BNP）の動態を詳細に解析し、以下の知見を世界に発信してきました。

●**BNPの性差と解釈の注意点**：高齢HFpEF患者では女性のほうが男性よりもBNP値が低く出る傾向があり、これは女性特有の左室同心性肥大やコンセントリック・リモデリングが関与していることを解明しました^(1,2)。

●**個別化療法の重要性**： β 遮断薬が女性HFpEF患者においてBNP上昇やLVEF低下と関連する可能性や、一方でカルシウム拮抗薬（アムロジピン）が女性において良好な血行動態指標と関連する可能性を示してきました^(3,4)。

これらの研究成果は、当院で行う「一人ひとりの病態に合わせた精密な運動処方」の礎となっています。

【主要参考文献】 1.Harada E, et al. Circulation Journal. 2017. 2.Harada E, et al. American Journal of the Medical Sciences. 2018.
3.Harada E, et al. American Journal of Physiology-Heart and Circulatory Physiology. 2022. 4.Harada E, et al. Circulation Journal. 2025.

熊本機能病院の心臓リハビリテーション

★心臓リハビリテーション指導士

当院では14名が在籍しており、医学的評価に基づく運動処方作成と疾病管理の中心的役割を担っています。

★科学的運動処方の要：心肺運動負荷試験（CPX）

心リハの効果を最大化し、かつ安全性を担保するためには、客観的な負荷設定が重要です。

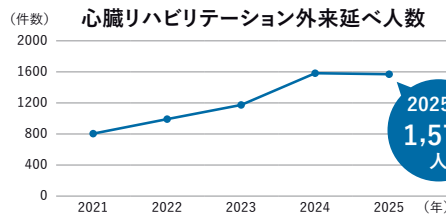
●**嫌気性代謝閾値（AT）に基づいた処方**：CPXを用いた呼気ガス分析により、乳酸が蓄積し始めるポイント（AT）を正確に同定します。交感神経の過度な亢進を避け、心不全症状の軽減に最も効率的な「黄金の負荷量」を算出します。

検査依頼の受け入れ：近隣の先生方からの「CPX検査のみ」のご依頼も随時お受けしております。貴院での日常診療や運動指導の指標として、科学的なデータをご活用ください。

★自己管理支援：「熊本健康・体力づくりセンター」との連携

心臓リハビリを運動へとシームレスに移行させ、ホームプログラムの定着を図り再入院を防ぐセーフティネットを構築しています。

●**「Small Community Walking（SCW）」の提唱**：山下運動指導士が中心に行なった熊本市他施設共同研究により、3人組で歩く「スモールコミュニティ・ウォーキング」が、心血管疾患患者の身体活動量だけでなく、主観的幸福感やソーシャルキャピタルを維持・向上させることを実証しました^(5,6)。



山下健康運動指導士

【主要参考文献】
5. Yamashita R, Harada E, et al. J Phys Ther Sci. 2024.
6. Yamashita R, Harada E, et al. Circulation Reports. 2025.

熊本
健康
体力づくり
センター

指定運動療法施設 熊本健康・体力づくりセンター

営業日：月～土 9:00～17:00

熊本機能病院敷地内に併設

〈健康運動指導士など専門のトレーナーが、個別のトレーニングメニューを提供します〉

☎096-345-8113

地域医療のハブとして、急性期治療後の患者様に対し、入院・外来を通じて集中的に介入します。病状が安定し運動習慣が定着した段階で、地域連携パスに基づき、リハビリ成果や最新の心機能情報を詳細に共有し、速やかに先生方のクリニックへお戻しします。

心不全診療では、入院は「点」、退院後の生活こそが「線」の治療です。研究で得た知見を地域の先生方へ還元し、熊本の健康長寿に共に貢献したいと考えています。「顔の見える連携」を大切に、先生方の頼れるパートナーとして尽力してまいります。

心臓リハビリテーションの5W1H

（2021年改訂版日本循環器学会 心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドラインより）

WHO：対象疾患（算定要件）

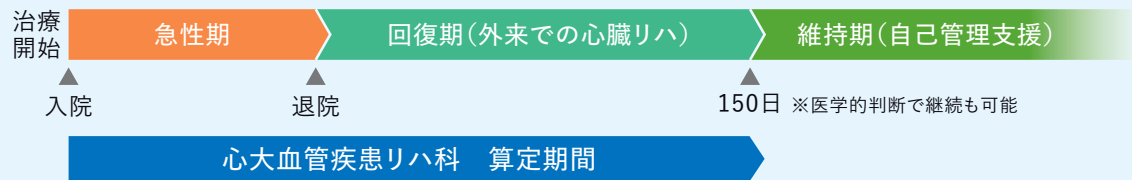
分類	対象疾患・状態
急性発症	急性心筋梗塞、不安定狭心症
慢性疾患	安定狭心症、末梢動脈疾患（PAD）
術後・処置後	開胸心臓手術後、大血管疾患（解離・瘤術後）、経カテーテル治療後（PCI、TAVI、ステントグラフト等）
慢性心不全	NYHA II度以上かつ、以下のいずれか： ・LVEF 40%以下 ・BNP 80pg/mL以上（NT-proBNP 300pg/mL以上 ※2026.6月～）

WHY：目的・効果

ガイドラインに掲載され、①推奨クラスI（手技、治療が有効、有用であるというエビデンスがある。あるいは見解が広く一致している）、かつエビデンスレベルA（複数ランダム化介入臨床試験またはメタ解析で実証されたもの）とされているもの

- 冠動脈疾患では心血管死26%減少（Cochrane Review）
- 心不全では再入院の有意な抑制（HF-ACTION試験等）
- 対象全疾患共通で運動耐容能・QOLの有意な改善

WHEN：リハビリの期間



WHERE：場所・体制（施設基準）

循環器専門医、専従の療法士・看護師の配置、**心肺運動負荷試験（CPX）**設備、緊急対応体制。定期多職種カンファレンスの開催など。配置義務はありませんが、医師、看護師などの国家資格と実務経験（10症例報告）を有し、試験を経て学会に認定された**心臓リハビリテーション指導士**が質の向上に貢献しています。

WHAT：内容

CPXの結果に基づき、運動療法、生活指導、栄養指導、服薬指導などを行います。維持期に向け、セルフケア、生活習慣の定着を目指します。

HOW：継続するには

心臓リハビリテーションは退院後も継続することで効果が高まり、再発、重症化防止につながります。無理なく続けられる運動や生活習慣を身につけ、日常の中で自然に続けられる環境を整えることが大切です。

お問い合わせ
・連携窓口

熊本機能病院 医療連携室 / 循環器内科

地域連携室直通

☎070-5432-7468 / ☎070-1288-6108

代表

☎096-345-8111